



柔和な表情の下に秘める實力は日本一

キラットさん

BEAMBITIOUS

『やりを持たせたら日本一!』

大館鳳鳴高校 2年

高 杉 昌 平さん

初回の「花輪線のタロット師」以来、二人目となる鳳鳴高校からのキラットさん。今回は、とてつもない輝きを持った逸材を紹介します。

「花輪線のタロット師とは通学仲間です。彼はその後、手品に凝りだしたんですよ」と話す高杉さん。

(どうやらタロット師は手品師へと転向したらしい。)

身長一八五センチの体格に甘いマスク、学業成績も優秀と、天から二物も三物も与えられたかのような彼。でも彼にはもう一つ天賦の才能が…。

「先日、陸上競技の全国ベスト10までの記録保持者を集めて開催された大会『浜松中日カーニバル』の、やり投げ種目高校生の部で優勝しました。そう、彼は全国トップレベルのアスリートなのです。

「やり投げを始めたのは高校生になってからです」と話す彼。わずか一年半ほどの急成長を「優秀な指導者のおかげです」と本人は言いますが、短い経験年数のわりに登りつめた頂はあまりにも高過ぎます。

「楽な気持ちで投げると、やりが自ら飛んで行くかのような感触があります。そんな時、飛距離がよく伸びるんです」という彼の言葉を聞くまでもなく、天性のセンスを彼に感じませんか？

まだ若い彼は今後もっと成長する可能性を秘めています。もしかしたらオリンピック選手になるかもしれませんね。要チェック!ですよ。



横手発 → 大館着

前略

大館市民になりました

(45)

☆今回は有浦4丁目の石川智さん一家です。

Q・ご家族は何人ですか？

妻の卓子と二人です。

Q・どちらからおいでになりましたか？

昨年の四月に転勤で横手市から来ました。

Q・大館の印象はいかがですか？

街の真ん中を流れる長木川に白鳥がたくさんいるのを見て、自然と共存できるほどの居住環境のきれいさに感動しました。また、住宅街の近郊に温泉が多いのも印象的です。私たち夫婦は温泉に入るのが好きなので、とても重宝しています。

Q・食べ物や言葉はどうですか？

大館には「アメッコ市」というイベントがあるそうですね。そのせいでしょうか、お菓子屋さんの頑張りが目立ちますね。大館のお菓子には、県南でもよく知られているものが多いんです。言葉の点では、特に女性が、会話の際に語尾を伸ばした話し方をするのが印象的です。『だけど』の意味で使う『んだばって』という言葉も、こちらに来て初めて耳にしました。

Q・大館にどんなことを望みますか？

若者の活動が目立たないですね。県南では青年会などの活動が盛んで、若者が自主的にイベントを企画したりしているんですよ。また、若者向けに情報を提供する「タウン誌」が無いのも気になります。大館の若者は、持てるエネルギーを十分に発散できているのでしょうか。自ら進んで、日常をより楽しいものにしようとする姿勢が欲しいですね。



智さんと奥さんの卓子さん